

次の、うれしい♪



AI
IoT
Software
Hardware



代表取締役会長 兼 CEO

松田 憲幸

代表取締役社長 兼 COO

小嶋 智彰

平素より当社をご支持いただいている皆様に心から御礼申し上げます。

当連結会計年度の実績につきまして、ご報告申し上げます。

主力製品であるAI通訳機「POCKETALK（ポケットーク）」は、特に米国において、教育機関、医療機関、公共機関、その他企業で導入が拡大いたしました。また、2024年10月には、5年ぶりの次世代機となる「ポケットーク S2」を発売し、一層の収益拡大を期待しております。売上高につきましては、海外向け販売が急速に伸長し、前期比で1.1%増となりました。

その他のIoT製品につきましては、文字起こしAI「AutoMemo（オートメモ）」の累計アカウント登録数（本サービスを利用する有料・無料会員合計）が2025年3月末時点で180,000を突破し、サブスクリプション型テキスト化サービスの会員数も順調に増加しております。また、2024年9月には、これまで当社が培ってきた音声認識技術と、最新のGPT技術を組み合わせた対話型ゴルフAIデバイス「BirdieTalk（バーディ・トーク）」を発売いたしました。今後も、IoT製品やソフトウェア製品にかかわらず、AIを活用した製品を順次提供してまいります。

これらの結果、当連結会計年度につきましては、売上高が114億55百万円（前期比1.1%増）となりました。また、IoT製品の製品評価損を計上したことによる売上総利益の減少やパートナー企業への出資に対して、投資有価証券評価損等を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失は38億96百万円（前期親会社株主に帰属する当期純損失21億69百万円）となりました。

引き続き大変厳しい決算となりましたこと、皆様には深くお詫び申し上げます。

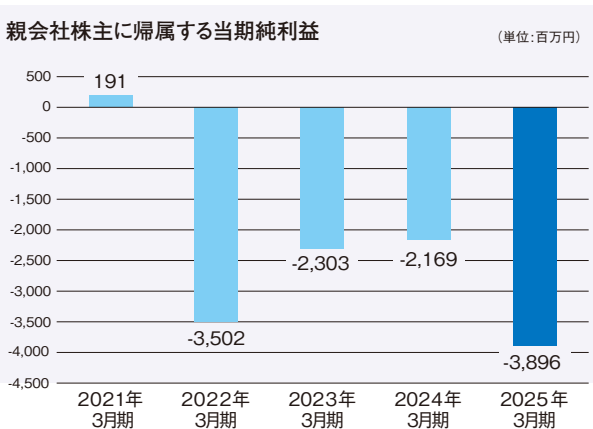
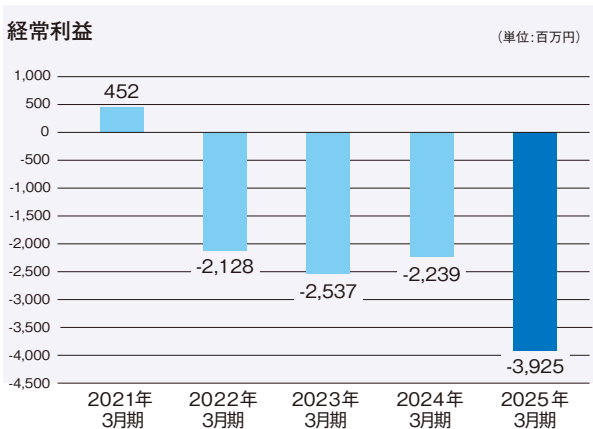
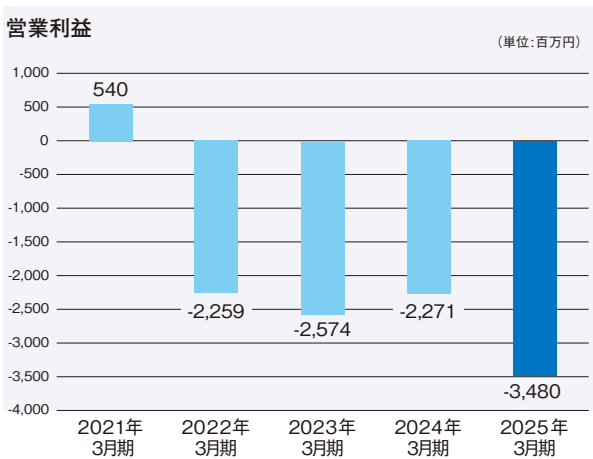
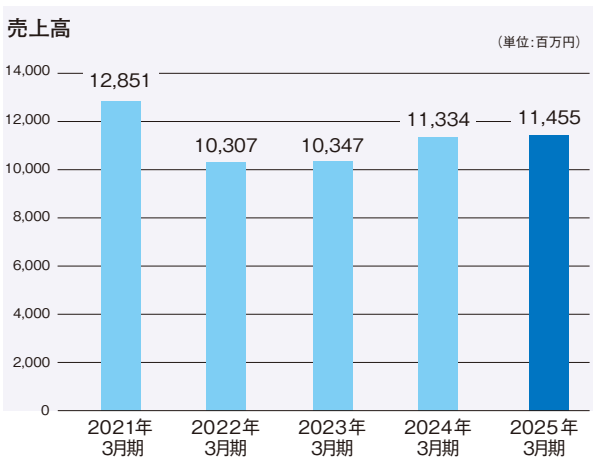
当社は、1996年の創業以来、「製品を通じて喜びと感動を世界中の人々に広げる」をミッションに、お客様のニーズや時代に合わせ、パソコンソフトからIoT製品まで、事業領域を拡大してまいりました。これからも、皆様に「次の、うれしい♪」を感じていただける製品を、スピード感を持って提供するために、製品の企画・開発に注力し、収益の改善に向けて全力を尽くしてまいります。

皆様のより一層のご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

連結業績ハイライト

決算のポイント

- 米国において、教育機関や医療機関、公共機関、その他企業向けの「ポケットーク」の販売が急速に拡大したことにより、売上高は前期比で1.1%（1億21百万円）増加
- 一方、「ポケットーク S2」の発売に伴い返品された旧製品の評価損を計上したこと、主に米国での販売増加に向けて体制を強化したことなどにより、営業損失は前期から12億9百万円増加
- パートナー企業への出資に対して、投資有価証券評価損等7億16百万円を計上



言葉の壁をなくす

AI通訳機「ポケットーク」は、言葉の異なる相手と互いに自国語のままで対話できるIoT製品。2018年の開発以来、語学機能の搭載、ハンズフリー化、多言語間での同時チャット、リモート会議などで利用できる同時通訳ソフトの開発など進化を重ねてきました。2022年2月には「ポケットーク株式会社」を設立し、ポケットークの事業を簡易新設分割により、当社の完全子会社としました。「言葉の壁をなくす」という事業ミッションの実現の加速を図っています。

POCKETALK ポケットーク株式会社の米国法人が 過去最高の営業利益率を達成



学校・教育機関における「ポケットーク」端末の導入加速が牽引

移民が多く、公共サービスの多言語への対応が必須条件である米国市場では、特に教育機関でのニーズが拡大し、AI通訳機「ポケットーク」および、ポケットーク端末を一元管理できるコンソール「Ventana（ベンタナ）」（日本名ポケットーク アナリティクス）のサブスクリプション収益が売上を牽引しています。2024年9月、営業利益率が過去最高の17.8%を達成しました。

AI通訳機「ポケットーク」

次世代機の発売、そして、新市場への挑戦。
ポケットークは積極的に事業を推進しています。



次世代機「ポケットーク S2」

2024年10月。約5年ぶりとなる次世代機として、AI通訳機「ポケットーク S2」を発売。設定した2言語を自動で判別し、スムーズな会話を実現します。Wi-Fiなしでも使える地域は170以上に拡大。バッテリーの持続時間も大幅に改善しました。複数の端末を管理する「ポケットーク アナリティクス」との連携でセキュリティ面もさらに強化。グローバルなセキュリティ基準への準拠により、個人でのご利用はもちろん、企業や団体、自治体でも安心してお使いいただけます。



ポケットーク S2 (左)と
ポケットーク S2 Plus (右)



AI通訳アプリ「ポケットークApp」

(iOS版 / Android版)

本アプリは、AI通訳機「ポケットーク」をより身近なスマートフォンで使えるようにしたものです。各アプリストアを通して、グローバルに提供しています。



Google Play
ベストオブ 2022
「部門賞」受賞

AI同時通訳「ポケットーク ライブ通訳」



「ポケットーク ライブ通訳」は、相手の話す言葉を自国語に翻訳し、音声とテキストで理解でき、まるで専属の同時通訳者がいるように相手の話がわかるサービスです。ウェブブラウザ上で使用でき、インターネット接続が可能なスマートフォンやパソコン、タブレット端末で使用できます。

ChatGPTの開発元、OpenAI社の音声認識技術を採用

本製品はOpenAI社が開発するジェネレーティブAIの音声認識モデル「Whisper」を採用。音声認識の精度だけでなく、発話タイミングを判定する正確性もさらに向上しました。同社は、ChatGPTのリリース以降、世界中で大きな注目を集めている人工知能(AI)の開発会社です。

ブラウザで利用可能

ソフトウェアのダウンロードは不要。パソコン以外のデバイスでも簡単に使い始められます。

双方向コミュニケーション機能 (特許出願中)

自動で言語を判別し、毎回、言語を選ぶことなく双方向のコミュニケーションができます。「ポケットーク ライブ通訳」の利用開始時に選択した2つの言語のうち、ユーザーがどちらの言語を話したかを音声認識AIが自動で判別し、他方の言語に翻訳されます(特許出願中)。これにより利用シーンも大幅に拡大し、特に対面でのコミュニケーションがさらに円滑化します。

共有機能を搭載したチームプランを追加

会議の参加者全員が手元で通訳結果を確認でき、よりスムーズに多言語でのコミュニケーションを実現できます。

新サービスを提供開始

AI同時通訳「ポケットーク for ツアー」



日本語しか話せないガイドでも、主要10言語から75言語に対応した多言語ツアーを開催できるAI同時通訳サービスです。専用機器や事前のソフトウェアインストールが不要で、ツアー参加者は自身のスマートフォンでQRコードを読み込むだけで利用できます。

さまざまなニーズに応えるサービスを提供

AI同時通訳「ポケットーク for カンファレンス」

本製品は、講演イベントなどで利用できる同時通訳システムです。多言語での会議をAIが通訳します。聞き手側はソフトウェアのインストールが不要で、自身のスマートフォンから専用サイトにアクセスするだけで使えます。

AI同時通訳「ポケットーク for スクール」

本製品は、ブラウザで手軽に利用できるAI通訳サービスです。マイクに話さだけで、通訳結果がパソコンやタブレットにリアルタイム表示。外国語でのコミュニケーションをスムーズにし、学びの場を広げます。

「ポケットーク ライブ通訳」「ポケットーク for ツアー」「ポケットーク for スクール」は主要10言語から75言語へ通訳できます。「ポケットーク for カンファレンス」は主要10言語から30言語へ通訳できます。

議事録向けAIサービス

文字起こしAI「オートメモ」

オートメモは、録音した音声の自動テキスト化や要約で議事録づくりを大幅に省力化するとともに、管理や共有までできる文字起こしAIです。PCでの直接録音から文字起こし、編集、共有までブラウザだけで完結。専用のボイスレコーダーや専用のスマホアプリもあります。精度の高いテキスト化と話者を音声で自動判別し、サッと議事録が完成します。お客様のニーズに的確に応え、アップデートを続けています。

AutoMemo



アカウント数

18万突破

2025年3月末時点



専用ボイスレコーダー

オートメモ R(左)とオートメモ S(右)



会議用360度webカメラ

ミーティングオウル

カメラ、マイク、スピーカーが一体になった会議用webカメラです。発言者を自動でフォーカスし、クローズアップ。累計出荷台数は3万台を超え、多くの企業に導入されています。2025年5月のアップデートにより、会議形式に応じた5つのビデオモードとオプションボタンのカスタマイズ機能を追加。あらゆる会議スタイルに対応可能、操作も快適になりました。



Meeting OWL



話者に自動でフォーカス

パソコンソフト

在宅勤務の普及で、セキュリティやビジネスソフト、さらに学習ソフト、教育ソフトなどの需要が拡大しています。

ペーパーレス化のニーズに応える「いきなりPDF」



高性能・低価格でPDF作成の常識を変えたロングセラーです。累計導入実績は1万社以上。文書管理の効率アップやコスト削減、テレワークの推進に貢献します。

期限なしのウイルス対策ソフト「ZERO」



ZEROシリーズは「端末固定・期限なし」の独自ライセンス。入れた端末が使えるまで守り続けます。1台に1本、1回入れれば対策が完了し、コストの面でも、手間の面でもセキュリティの負担を大きく軽減します。

3ブランドの年賀状ソフト



Windows用の年賀状ソフトでトップシェアの「筆まめ」、Mac用でトップの「宛名職人」、そして自社著作の「筆王」と3ブランドのソフトを提供。当社サイトでは、毎年の自動継続版が売上を堅調に伸ばしています。

パソコンソフト販売本数 4分野でシェア第1位

2024年1月～12月 第三者機関による有力家電量販店の販売実績（PCソフト）の集計結果をもとに、ビジネスから「OCR・翻訳/PDF」、実用から「ハガキ/キーボード」を抽出しメーカー別数量シェアを自社集計。

スマートタグ

ペブルビー

米国PB Inc. 社が開発し、世界で初めてApple社製デバイスの「探す」ネットワークとGoogle社が提供する「デバイスを探す」機能の両方のネットワークへの対応を実現したスマートタグです注。鍵や財布、スーツケースなど、大切なものに取り付けておくと、見当たらなくなった時にスマートフォンに標準搭載されている機能を使って、簡単に見つけられます。

注：PB,Inc社調べ。また、両方のネットワークを同時には使えません。

pebblebee



スマホ用ゲームコントローラー

バックボーン・ワン

伸縮式のホルダーにスマホを接続することで、スマホをゲーム機に変えられるコントローラーです。日本では、ソースネクストが国内唯一の総合代理店として、家電量販店を含む各販売チャネルに展開しています。

BACKBONE



ユーザーサービス

2000万人を超えるご登録ユーザー

当社は、ダウンロード販売を中心に自社サイトでの通信販売を展開。製品をご購入になり製品登録をされたお客様に、アフターサービスとしてバージョンアップやユーザー割引などのリピート購入を促進しています。ユーザー登録数はのべ2000万人を超え、大きな資産となっています。

弊社は ISO/IEC 27001 認証を取得しています

認証の範囲を拡大



IS99984/ISO27001 パソコン・スマートフォンソフトウェアおよびハードウェア製品の開発、及び自社ECサイトの運営、サポート業務

情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) の国際規格である「ISO27001」認証の範囲を拡大しました。従来の「自社ECサイトの運営、サポート業務」に加え、「パソコン・スマートフォンソフトウェアおよびハードウェア製品の開発」も対象に、認証を取得しました。近年、企業におけるDX化促進などの背景から、「いきなりPDF」や「AutoMemo」をはじめとする当社製品のニーズの高まりとともに、法人のお客様からデータ安全性やセキュリティ体制に関するお問い合わせが増加しています。これに対応するとともに、弊社が提供する製品やサービスをお客様に安心してご利用いただけるよう、認証取得に向けた体制強化を進めてまいりました。今回の認証取得により、弊社の製品開発における情報セキュリティ管理の枠組みが、国際基準に適合したものであると第三者機関に認められたことになります。今後も、適切な情報セキュリティ対策の維持・向上に努めてまいります。

ソースネクストの軌跡

ソースネクストの歴史は、新しい常識への挑戦の連続でした。そして、それは今後も変わることはありません。



What's Next

連結財務諸表（要旨）

連結貸借対照表 (単位:百万円)

科 目	前 期 2024年3月31日現在	当 期 2025年3月31日現在
資産の部		
流動資産	8,762	11,342
うち現金及び預金	3,282	6,008
うち商品及び製品	2,494	2,646
固定資産	8,048	5,866
有形固定資産	140	101
無形固定資産	3,542	3,597
投資その他の資産	4,366	2,168
1 資産合計	16,811	17,209
負債の部		
流動負債	6,329	6,165
固定負債	2,092	1,689
2 負債合計	8,421	7,854
純資産の部		
株主資本	7,026	7,485
その他の包括利益累計額	1,047	△20
新株予約権	315	422
非支配株主持分	-	1,467
純資産合計	8,389	9,354
負債純資産合計	16,811	17,209
流動比率	138.4%	184.0%
当座比率	83.1%	122.6%
自己資本比率	48.0%	43.4%

連結損益計算書 (単位:百万円)

科 目	前 期 自 2023年4月1日 至 2024年3月31日	当 期 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日
3 売上高	11,334	11,455
売上原価	5,230	6,119
売上総利益	6,103	5,336
販売費及び一般管理費	8,375	8,816
営業損失(△)	△2,271	△3,480
4 経常損失(△)	△2,239	△3,925
税金等調整前当期純損失(△)	△2,158	△4,234
法人税等	363	209
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△351	△547
5 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△2,169	△3,896

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科 目	前 期 自 2023年4月1日 至 2024年3月31日	当 期 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日
6 営業活動によるキャッシュ・フロー	△765	△1,857
7 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,501	△1,215
8 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,163	5,778
現金及び現金同等物に係る換算差額	76	23
現金及び現金同等物の増減額	△3,353	2,728
現金及び現金同等物の期首残高	6,484	3,130
現金及び現金同等物の期末残高	3,130	5,858

ポイント

1 資産合計

3億97百万円増加し、172億9百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加27億26百万円、投資有価証券の減少21億23百万円によるものです。

2 負債合計

5億66百万円減少し、78億54百万円となりました。主な要因は、返済に伴う短期借入金の減少2億25百万円、長期借入金(1年内返済予定を含む)の減少3億51百万円によるものです。

3 売上高

米国において、教育機関や医療機関、公共機関、その他企業向けの「ポケットク」の販売が急速に拡大した他、当社オンラインショップでの取り扱い製品数の拡充などにより、売上高が増加いたしました。この結果、売上高は前期比で1.1%増の114億55百万円となりました。

4 経常損失

「ポケットク S2」の発売に伴い返品された旧製品の評価損を計上したこと、主に米国での販売増加に向けて体制を強化したことなどにより、営業損失は34億80百万円(前期営業損失22億71百万円)となりました。また、当社持分法適用会社の一部に対し、持分法による投資損失を3億25百万円計上した影響等により、当連結会計年度の経常損失は39億25百万円(前期経常損失22億39百万円)となりました。

5 親会社株主に帰属する当期純損失

当社が保有する投資有価証券の一部を売却したことによる売却益および、当社が保有する投資有価証券の評価損を計上いたしました。この結果、当連結会計年度の税金等調整前当期純損失は42億34百万円(前期税金等調整前当期純損失21億58百万円)となりました。法人税等調整額2億3百万円を計上し、非支配株主に帰属する当期純損失5億47百万円を計上しました。以上の結果、親会社株主に帰属する当期純損失は38億96百万円(前期親会社株主に帰属する当期純損失21億69百万円)となりました。

6 営業活動によるキャッシュ・フロー

前連結会計年度と比べ支出が10億92百万円増加し、18億57百万円の支出となりました。主な要因は、税金等調整前当期純損失が20億76百万円増加したこと、売上債権の減少による収入が11億31百万円増加したことによるものです。

7 投資活動によるキャッシュ・フロー

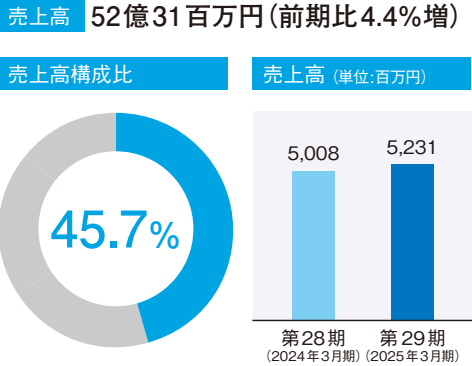
前連結会計年度と比べ支出が2億86百万円減少し、12億15百万円の支出となりました。主な要因は、ソフトウェアの取得による支出が3億9百万円減少したことによるものです。

8 財務活動によるキャッシュ・フロー

前連結会計年度は、11億63百万円の支出であったのに対して、当連結会計年度は、57億78百万円の収入となりました。主な要因は、非支配株主からの払込みによる収入が55億94百万円増加したことによるものです。

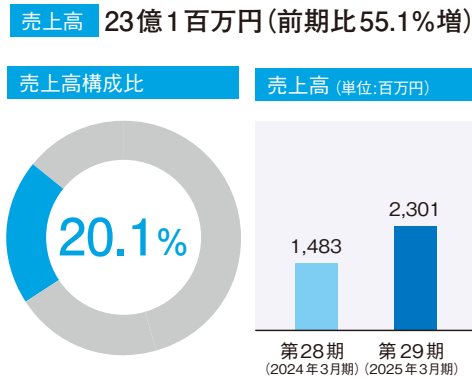
チャンネル別概況

オンラインショップ



当社直販サイト及びAmazon等の国内ウェブサイトにおけるオンラインショップにおいて、IoT製品やソフトウェア製品を販売しております。

海外等



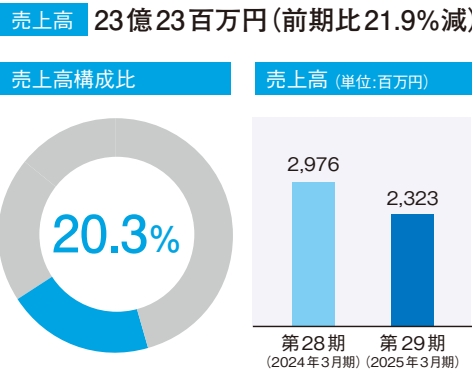
米国や欧州の当社孫会社において「ポケットーク」を販売しております。

営業概況・主な施策

- ・当チャンネルでは、Amazonや楽天などの国内ウェブサイトが好調で、販売数量が増加しています。販売製品数の拡充や広告の強化等に取り組んだ結果、国内ウェブサイトにおける売上高が前期よりも増加しました。
- ・当社直販サイトでは、年賀状ソフトの市場全体の縮小、サイト訪問者数が減少した一方で、取り扱い製品数の拡充、またセキュリティソフトや「いきなりPDF」などの販売が好調に推移したことにより、売上高が前期比で増加しました。
- ・品揃えの充実や魅力的なイベントの企画、直販サイトにおける購入動線の改善等を実施することで、ロイヤルユーザーの購買頻度の向上及び新規ユーザーの獲得を進めております。

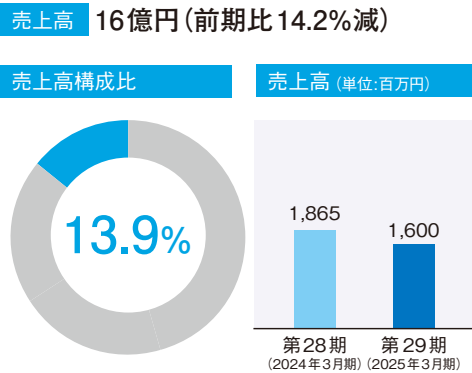


法人営業



法人向けに、「ポケットーク」を始めとするIoT製品並びにweb会議関連のハードウェアの販売・レンタル提供や、パソコンソフト・スマートフォンアプリの使い放題サービス等を提供しております。

家電量販店



主に全国の家電量販店において、個人ユーザー向けのIoT製品及びパソコンソフト等を販売しております。

営業概況・主な施策

- ・当チャンネルでは、Windows 10のサポート終了に伴うパソコン買い替えや公共機関における法人向けのライセンス販売により、「いきなりPDF」の販売が好調に推移しました。一方で、携帯キャリアによるアプリ使い放題サービスが低調なことなどにより、結果として、売上高は前期より減少しております。
- ・360度webカメラにつきまして、リモート会議等で活用される法人のお客様からの需要を獲得し、堅調に推移しております。



営業概況・主な施策

- ・当チャンネルでは、インバウンド及びアウトバウンドの復活により、「ポケットーク」の需要が回復し、家電量販店の店頭における売り場拡充等に取り組んだ結果、「ポケットーク」の売上高は前期比で増加しました。また、360度webカメラシリーズのほか、スマホ用ゲームコントローラー「Backbone」などのハードウェア製品の販売が好調に推移しました。一方で、年賀状ソフトの市場全体の縮小などにより、チャンネル全体では、前期より売上高は減少いたしました。
- ・今年10月のWindows 10のサポート終了に伴うパソコン買い替え等による需要による販売拡大を図ってまいります。



新株予約権発行による資金調達

2024年10月2日より、UBS AG London Branchを割当予定先に、成長戦略を支える資金調達の一環として、第三者割当による新株予約権の発行を決議いたしました。これにより、最大で計60億円の資金調達が可能となりました。調達資金は主に既存事業の拡充や新規サービス開発への投資に充てる予定です。

サプライヤーとして協賛

2025年日本国際博覧会 シグネチャーパビリオン “いのちの遊び場 クラゲ館”

AI通訳機「ポケットク」を提供し、学びや遊びを通して世界をつなぐ、という目的のもと、「ポケットク」を通して大阪・関西万博で出会う人々のコミュニケーションを円滑にし、多様な文化が交わる場の実現に協力しています。



©steAm Inc. & Tetsuo Kobori Architects All Rights Reserved



ポケットク S

ふるさと納税の返礼品に採用

当社製品の開発および製造拠点である北海道札幌市と埼玉県東松山市にて、当社の24製品がふるさと納税の返礼品として採用されました。今後も採用製品を順次拡充していく予定です。ふるさと納税額の向上を通じて、地域創生に貢献してまいります。

サステナビリティ推進委員会

CDP2024「気候変動」分野で「B」評価取得



2024年、国際的な非営利団体CDPによる気候変動分野の評価で「B」のスコアを取得しました。これは環境リスクへの対応を行なっていることを示す評価で、8段階中上から3番目に位置します。また、前期には、企業としての責任ある姿勢を明文化するため、「AI倫理基本方針」「税務方針」「贈収賄・腐敗防止方針」を新たに制定しました。これらはいずれも国際的な基準に準拠したものであり、透明性、公正性、法令遵守を軸に、当社グループの持続可能な事業活動の基盤となることを目指しています。

ソースネクスト・グループの環境戦略

- ソースネクスト・グループは、温室効果ガス排出量の削減に向けた具体的な目標を掲げ、持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています
- 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言に賛同し、気候変動の影響分析やリスク管理に関する情報を開示しています
- 気候変動の影響を抑えるために、2030年度までにグループ全体の温室効果ガス排出量(Scope1+2)の実質排出ゼロを目指しています

ソースネクスト・グループは、今後、事業基盤の強化や企業価値の向上などの観点を考慮したうえで、弊社にとっての重要課題(マテリアリティ)を特定し、特定したマテリアリティを中期経営計画や長期ビジョンに組み込むことによって、財務・非財務の両面で、経営の質を向上させ、事業と社会の持続可能な成長を目指してまいります。

よくあるお問合せ

Q. 最も人気の高い製品・サービスは何ですか？

A. AI通訳機「ポケットク」および、文字起こしAI「オートメモ」などIoT製品が好評です

「ポケットク」は2017年12月の発売以来、累計出荷台数120万台を突破(2024年10月時点)。米国においては、非ネイティブへの多言語対応のために、教育機関や医療機関、公共機関等での採用が加速しています。また「ポケットク」で培った音声認識技術を活かして、録音した音声文字起こしするAI「オートメモ」は、音声認識精度向上や要約機能の実装等、改善を続けており、サービス利用アカウント数が18万を超えるなど、好評いただいています。

Q. 株主還元策はどのように考えていますか？

A. 安定的に配当する方針を堅持しています

業績、配当性向及び中長期の企業成長に必要な投資額などを総合的に考慮した利益配分を基本方針としております。これまで10から15%の配当性向にて配当を実施しておりました。しかしながら、当期は38億96百万円の当期純損失を計上しております。業績の回復に全力を注ぐとともに、中長期的な成長を支える基盤を立て直していくため、誠に遺憾ではございますが当期につきましては無配を予定しております。株主還元施策として導入した株主優待制度に関しましては、引き続き実施いたします。

Q. 今後の事業戦略は？

A. 「ポケットク S2」の販売拡大、米国における収益拡大。その他製品は、AIに特化した新製品の開発・販売を進めます

「ポケットク」については、日本国内でのインバウンド需要による法人向けの専用端末の販売拡大に加え、「ポケットク for ツアー」などのソフトウェア製品の販売を促進いたします。海外においては、販売が急速に伸びている米国市場で、さらなる認知度向上や販路の拡大を進めます。その他の製品につきましては、パソコンの買い替え需要に合わせて、セキュリティソフトや「いきなりPDF」をはじめとする主力製品の販売促進に注力いたします。既存製品の機能拡充などに加え、文字起こしAI「オートメモ」などをはじめとする、生成AIなどの新たな技術を活用した新製品の開発・販売を積極的に進めてまいります。

Q. コンプライアンス体制の構築はされていますか？

A. コンプライアンス重視の風土を築いております

当社の理念「世界一エキサイティングな企業になる」では、エキサイティングを「正しい、喜ばれる、面白い」と定義し、正しさを求める風土を醸成しています。また、勤務形態を問わず入社時と年に1度の研修やテストの履修を義務づけるほか、社員で構成される委員会活動などで教育をしております。さらに、法令上疑義のある行為は、全従業員が匿名で当社と利害関係のない独立機関を通じて会社に報告できる通報窓口を設置、運営しています。

株主の皆さまの声をお聞かせください

コエキク

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

右記URLにアクセスいただき、
アクセスキー入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー 4344yadt



スマートフォンから
カメラ機能でQRコードを読み取り
QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 ☒ koekiku@pronexus.co.jp

会社情報

会社の概況 (2025年3月31日現在)

商号 ソースネクスト株式会社
英文社名 SOURCENEXT CORPORATION
設立年月日 1996年8月2日
本社所在地 〒107-0052
東京都港区赤坂一丁目14番14号
第35興和ビル4階
資本金 4,009百万円
従業員数 単体109名(臨時7名含む)
連結168名(臨時7名含む)
事業内容 パソコン・スマートフォンソフトウェアおよび
ハードウェア製品の企画・開発・販売

役員の状況 (2025年3月31日現在)

代表取締役会長 兼 CEO(最高経営責任者) 松田 憲幸
代表取締役社長 兼 COO(最高執行責任者) 小嶋 智彰
取締役 兼 CFO(最高財務責任者) 青山 文彦
社外取締役 安藤 国威
社外取締役 中井戸 信英
社外取締役 大上 有衣子
常勤監査役 廣瀬 正明
社外監査役 小林 哲也
社外監査役 木南 麻浦

株式の状況 (2025年3月31日現在)

発行可能株式総数 361,120,000株
発行済株式の総数 139,110,300株
株主数 49,513名

企業理念

社名の意味
「次の常識をつくる」

ソースネクスト株式会社 最高戦略

ミッション
製品を通じて、喜びと感動を、
世界中の人々に広げる

ビジョン
世界一エキサイティングな企業になる

バリュー
お客様の声を聞く
新しい市場を創る
挑戦を楽しむ

エキサイティングの3条件
正しい、喜ばれる、面白い

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
※第30期は2025年4月1日から2025年12月31日まで

定時株主総会 毎年3月開催
基準日 定時株主総会 毎年12月31日
期末配当 毎年12月31日
その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めた日

**株主名簿管理人
及び特別口座の口
座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
**株主名簿管理人
事務取扱場所** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先)
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)
 0120-782-031
(インターネットホームページURL)
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

(株式に関する住所変更などのお届出およびご照会について)
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更などのお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

(特別口座について)
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更などのお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法 電子公告の方法により行ないます。
(<https://www.sourcenext.com/>)
ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

証券コード 4344
上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場



ソースネクスト株式会社
〒107-0052
東京都港区赤坂一丁目14番14号
第35興和ビル4階

●Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標もしくは登録商標です。
●その他の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。